

②龍谷大学給付奨学金(家計奨学金)申請書

申込日 年 月 日

※必ず黒のボールペンで記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用不可。

【A. 基本情報】

学籍番号	学部	学年	フリガナ 氏名(自署)	連絡先(携帯電話)

○龍谷大学給付奨学金(家計奨学金)に申請します。本書記入に虚偽はありません。万が一記入内容に誤りがある場合は、大学の求めに応じて本人または保証人が加筆等による訂正を行います。また、場合により大学が訂正を行うことを承諾し、その対応を一任いたします、

学生署名: 保証人署名:
(大学へ届出の方)

※本奨学金に申請される方は以下に回答し、本申請書と共に必要書類をご提出ください。

2023年9月現在、貸与中・給付中の奨学金について記入してください。

日本学生支援機構 (受給中のものに○)	貸与奨学金(第一種 ・ 第二種)
	給付奨学金(修学支援新制度 ・ 旧制度)

※給付奨学金(修学支援新制度)を受給中の方は申請できません。

その他の貸与型奨学金 (正式名称を記入)	
-------------------------	--

※その他の奨学金制度を利用中の場合は、受給状況が分かるものを添付してください。(例:奨学生証、採用決定通知等)

※貸与名義が本人以外の奨学金や、貸付金(国の教育ローンや母子寡婦福祉資金貸付金等)は記入不要です。

【B. 所得・家族情報】

(1)通学形態を選んでください。※どちらかに○	自宅通学 ・ 自宅外通学
(2)あなたと同一生計の家族人数を記入してください。	人(あなたを含む)
(3)主たる家計支持者の所得状況について(父母のいずれか、父母がいない場合は代わって家計を支えている人 ※例:祖父)	

(a)氏名		(b)続柄	父 ・ 母 ・ その他()
(c)職業 (該当する項目すべて○で囲む)	会社員・公務員・自営業・会社役員・自由業・専業主婦(夫)・パートタイム・無職・その他()		
(d)所得(申込時点の状況)について、該当するものをすべて○で囲み、【3】～【9】は年額も記入してください。※算出方法はP.3～4を参照			
【1】給与所得 【2】商店・農業工業、個人経営 【3】失業手当(年額 万円) 【4】生活保護費(年額 万円)			
【5】傷病手当金(年額 万円) 【6】年金(年額 万円) 【7】児童手当・児童福祉手当・特別児童扶養手当(年額 万円)			
【8】祖父母等からの援助や養育費(年額 万円) 【9】その他(年額 万円) 【10】2022年1月1日以前から無職			
(e)収入状況※どちらかにチェック 上記(d)で【1】または【2】を選択した人は回答	☐ 2022年1月1日以前と変更ありません		
	☐ 2022年1月2日以降に変更があります →変更後の年収(見込み)を記入してください		給与支払金額 年額 万円
			所得金額 年額 万円
大学使用欄 (記入不要)	【1】 万円	【2】 万円 → 【給与】 万円	【給与以外】 万円

(4)その他の家計支持者の所得状況について(父母のいずれかで(3)以外の人 ※無職の場合も記入必須)

(a)氏名		(b)続柄	父 ・ 母 ・ その他()
(c)職業 (該当する項目すべて○で囲む)	会社員・公務員・自営業・会社役員・自由業・専業主婦(夫)・パートタイム・無職・その他()		
(d)所得(申込時点の状況)について、該当するものをすべて○で囲み、【3】～【9】は年額も記入してください。※算出方法はP.3～4を参照			
【1】給与所得 【2】商店・農業工業、個人経営 【3】失業手当(年額 万円) 【4】生活保護費(年額 万円)			
【5】傷病手当金(年額 万円) 【6】年金(年額 万円) 【7】児童手当・児童福祉手当・特別児童扶養手当(年額 万円)			
【8】祖父母等からの援助や養育費(年額 万円) 【9】その他(年額 万円) 【10】2022年1月1日以前から無職			
(e)収入状況※どちらかにチェック 上記(d)で【1】または【2】を選択した人は回答	☐ 2022年1月1日以前と変更ありません		
	☐ 2022年1月2日以降に変更があります →変更後の年収(見込み)を記入してください		給与支払金額 年額 万円
			所得金額 年額 万円
大学使用欄 (記入不要)	【1】 万円	【2】 万円 → 【給与】 万円	【給与以外】 万円

※裏面もあります

(5)その他の家族状況について(主たる家計支持者およびその他の家計支持者に扶養されている人)

あなたと同一生計の <u>就学者および 未就学者の人数</u> (あなたを含む)				人
続柄	年齢	該当するものをすべて○で囲んでください。(あなたの記入は不要です)		
		国公立・私立・未就学	小・中・高・高専(1～3年)・高専(4・5年)・大・短大・院・専修(高等)・専修(専門)	自宅・自宅外
		国公立・私立・未就学	小・中・高・高専(1～3年)・高専(4・5年)・大・短大・院・専修(高等)・専修(専門)	自宅・自宅外
		国公立・私立・未就学	小・中・高・高専(1～3年)・高専(4・5年)・大・短大・院・専修(高等)・専修(専門)	自宅・自宅外
		国公立・私立・未就学	小・中・高・高専(1～3年)・高専(4・5年)・大・短大・院・専修(高等)・専修(専門)	自宅・自宅外

あなたと同一生計の「 <u>家計支持者・就学者および 未就学者</u> 」 <u>以外</u> の人数				人
続柄	年齢	居住	職業	
		同居 ・ 別居	無職 ・ 社会人 ・ その他()	
		同居 ・ 別居	無職 ・ 社会人 ・ その他()	
		同居 ・ 別居	無職 ・ 社会人 ・ その他()	
		同居 ・ 別居	無職 ・ 社会人 ・ その他()	

【C. 特記情報】

(1)あなたの支払っている年間の授業料を選んでください。(いずれかを○で囲む) ● 文、経済、経営、法、政策、社会:77万円 ● 心理:101万円 ● 国際(国際文化):81万円 ● 国際(グローバルスタディーズ):97万円 ● 理工:98万円、先端理工:103万円 ● 農:98万円 ● 短大(社会福祉):80万円 ● 短大(こども教育):82万円		
(2)あなたの家族はひとり親家庭ですか。(証明書類の提出が必要)		いいえ ・ はい
(3)家族の中に障がいのある人がいますか。(障がい者手帳のコピー提出が必要)		いいえ ・ はい (人)
(4)主たる家計支持者が単身赴任等で別居していますか。		いいえ ・ はい
→「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。(上限71万円・申請書および領収書の提出が必要)		万円 ※1万円未満は切り上げ
(5)あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人やまたは療養を必要とする人がいますか。		いいえ ・ はい
→「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。(申請書および領収書の提出が必要)		万円 ※1万円未満は切り上げ
(6)この1年間に火災・風水害または盗難などの被害を受けたことがありますか。		いいえ ・ はい
→「はい」と答えた人で、長期(2年以上)にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。(証明書および領収書の提出が必要)	支出の増額	万円 ※1万円未満は切り上げ
	収入の減少	万円 ※1万円未満は切り上げ

【D. 申請理由】

奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを学生本人の視点から3行以上記入してください。
